

新規雇用創出数の累計

累計**1,600人** (R2年度～R6年度)

R3時点	R4時点
639人	975人

25～44歳の女性の就業率

83.3% (H27) → **85.3%** (R6)

R3時点	R4時点
84.2%	数値なし

1 付加価値の高い地域産業や魅力あるしごとづくりの促進

報告書
4～7P

新型コロナウイルス感染症の影響に加え、昨今の原材料価格高騰の影響を受けている業種もある一方で、一部企業では価格転嫁が進んだことから従事者一人あたりの商工業等生産額は総じては前年度と同程度になるものと考えられる。ベンチャー企業の創業や事業拡大については、先端研究産業支援センター新棟（F棟）供用開始と産業集積団地造成とともに、サイエンスパークの振興発展を目指す（一社）鶴岡サイエンスパークの事業活動を支援し、産業を創る若い人材の増加に資する事業を展開する。

(1) 高度な研究教育による新産業創出と起業家育成

- 鶴岡バイオクラスター形成プロジェクト事業として、事業シーズの探索や入居企業の誘致、産学官研究交流推進事業を実施
- 拡張事業（F棟増築）を継続し、本体工事、関連工事（外構工事や既存棟の改修）を実施

(2) 意欲を喚起し市民の暮らしを支えるはたらく場の確保・振興

- 中小企業新製品開発支援事業補助金で5事業を採択し補助金を交付
- 企業立地を進めるため、用地取得助成金、事業場設置助成金助成金、雇用創出助成金を交付（大山工業団地への新規進出が実現）
- 産業強化イノベーションプロジェクト推進事業では、新たな産業団地開発を検討するため、開発実施本計画の策定と候補地の地権者説明会を実施

高等教育機関・研究機関の研究結果などから誕生した本社を鶴岡市に置くベンチャー企業（従業員4名以上）の数（累計）

現状値	R3実績値	R4実績値	成果指標
5社 (R元年度)	5社 (R3年度)	5社 (R4年度)	7社 (R6年度)
	進捗：△	進捗：△	

上記ベンチャー企業の40歳未満の従業員（役員（非常勤を除く）及び正社員）数

現状値	R3実績値	R4実績値	成果指標
187人 (R元年度)	182人 (R3年度)	198人 (R4年度)	227人 (R6年度)
	進捗：△	進捗：○	

従事者一人あたりの商工業等生産額

現状値	R3実績値	R4実績値	成果指標
696万円/人 (H27年度)	696万円/人 (H27年度)	696万円/人 (H27年度)	800万円/人 (R6年度)
	進捗：-	進捗：-	

3 いきいきと働くことができる環境づくり

報告書
11～12P

求人増加している業種があることや新型コロナウイルス感染症の影響から人口密集地を避ける傾向があり、地元就職の割合が増加したと考えられる。オンラインを活用したインターンシップの実施やビジネスプランコンテスト及び関連事業を支援し、若年層の地元への愛着形成やビジネススキルの向上等を図るなど起業・創業環境の整備も含め地域の産業人材育成を推進する。

(1) 本市の産業を支え発展に導くはたらく人の確保・育成

- 中学生・高校生等向けの職業体験や合同説明会・見学会などを関係機関と連携し実施
- オンラインでの企業合同説明会、採用力を高める企業向けセミナーを実施
- 新規創業促進助成金事業では、確かな経営知識を有する新規創業者を育み、地域産業の活性化を図るとともに、創業に係る初期費用の負担を軽減

(2) 仕事と生活の調和の促進

- 男女共同参画推進懇談会のテーマとしてワーク・ライフ・バランスを設定し意見交換を実施

新規高等学校卒業者就職者のうち市内就職者の割合

現状値	R3実績値	R4実績値	成果指標
50.6% (H31.3月卒)	54.8% (R3.3月卒)	57.5% (R4.3月卒)	60.1% (R7.3月卒)
	進捗：○	進捗：○	

やまがたイクボス同盟 鶴岡市加盟企業数

現状値	R3実績値	R4実績値	成果指標
20社 (R元年度)	51社 (R3年度)	51社 (R4年度)	78社 (R6年度)
	進捗：○	進捗：△	

2 農林水産業の成長産業化の推進

報告書
7～10P

新規就農者は、鶴岡市立農業経営者育成学校（SEADS）の修了生の就農や農業法人数の増加・規模の拡大に伴って増加し、順調に推移している。産直施設の販売額については、新たな農産品を使用した新商品の開発や販促支援等により増加につながった。林業事業体へは森林環境譲与税を活用した支援を実施し、間伐・保育事業を促進した。漁業生産額は全般的に前年より好調で、魚価についてはコロナ禍の落ち着きによる需要増加と漁獲量の減少が重なり増加している。

(1) 農業を支える人材の育成・確保

- 地域定住農業者育成コンソーシアムが実施する食と農のビジネス塾をはじめ、新規就農者向けの合同研修や交流会開催等を支援
- 農業経営者と法人の後継者（雇用就農）の育成を目的とした鶴岡市立農業経営者育成学校（SEADS）に3期生9人が入学

(2) 農産物の付加価値向上と販路拡大

- 6次産業化に係る取組の初期投資の負担軽減・実施環境の整備を目的に、鶴岡市6次産業化ファーストステップ推進事業、山形のうまいもの創造支援事業等による支援（県・市合計で9件）を実施

(3) 効率的な木材生産と健全で豊かな森林づくり

- 森林環境譲与税を活用し、林業事業体が行う間伐・保育事業への支援や林道災害予防・改良事業などを実施

(4) 水産物の安定供給と漁村の活性化

- 市管理漁港の修繕や浚渫、県と協調し、由良、米子漁港の機能強化を実施
- オーダーメイド型補助による漁獲物の品質向上などにつながる設備導入を支援

新規就農者数（上段） うち新規参加者数（下段）

現状値	R3実績値	R4実績値	成果指標
20人 11人 (R元年度)	累計118人 累計42人 (R3年度)	累計172人 累計60人 (R4年度)	累計239人 累計132人 (R6年度)
	進捗：○	進捗：○	

産直施設の販売額

現状値	R3実績値	R4実績値	成果指標
10.8億円 (H30年度)	13.6億円 (R3年度)	14.2億円 (R4年度)	14.1億円 (R6年度)
	進捗：◎	進捗：◎	

木材生産量（民有林）

現状値	R3実績値	R4実績値	成果指標
31,831m ³ (H30年度)	48,063m³ (R2年度)	40,859m³ (R3年度)	48,000m ³ (R6年度)
	進捗：◎	進捗：△	

生産額（上段） 魚価（下段）

現状値	R3実績値	R4実績値	成果指標
11.6億円 460円/kg (H30年度)	10.8億円 476円/kg (R3年度)	12.7億円 569円/kg (R4年度)	15.0億円 550円/kg (R6年度)
	進捗：△	進捗：○	

4 ふるさと鶴岡を愛する教育の推進

報告書
13～14P

新学習指導要領の実施により、「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業が取り組まれており、他者との関わり合いの中で、自分の考えを伝えることや他者の考えの良さに気付ける対話と協働の意識が浸透してきている。また、家庭教育講座については、コロナ禍により家庭教育に関する講座を中止する施設が少数あったものの、徐々にコロナ禍前の通常開催に戻りつつあり増加している。

(1) 次代を担う人づくりの推進

- 親子で楽しむ庄内論語の配布や、特色ある学校づくりを支援するための補助により学習機会を提供
- 鶴岡市教育相談センター及び教育相談員による発達検査、発達に関する相談、スクールカウンセラーによる個別相談やソーシャルスキルトレーニングの実施

(2) 地域における人づくりの推進

- やまがた子育て講座、幼児共育ふれあい広場、家庭教育支援講座（小中12校、幼保園、児童館等17施設）を実施
- 地域住民を対象とした地域子育て推進講演会（オンライン）を開催

全国学習状況調査における割合
①自己肯定感を感じている子ども（上段）
②他者との協働や共生について考えている子ども（下段）
※R3より調査項目からなくなったため変更。

現状値	R3実績値	R4実績値	成果指標
① 78.0% ② 54.7% (R元年度)	① 79.6% ② - (R3年度)	① 76.2% ② 61.9% (R4年度)	① 82.0% ② 56.0% (R6年度)
	進捗：◎	進捗：△	

家庭教育支援講座を実施した施設割合

現状値	R3実績値	R4実績値	成果指標
46.5% (H30年度)	24.5% (R3年度)	28.4% (R4年度)	65.8% (R6年度)
	進捗：△	進捗：△	

転入者数と転出者数の差

▲394人 (H30年度) → ▲200人 (R6年度)

R3時点	R4時点
▲406人	▲367人

ふるさと寄附金の寄附件数

25,596件 (H30年度) → 173,000件 (R6年度)

R3時点	R4時点
96,259件	109,656件

報告書
15~17P

1 移住・定住・地元回帰の促進

移住件数については、継続的な相談対応のほか、移住体験（お試し住宅）や関わり体験（UIターンサポートプログラム）などの実施により、目標の水準を上回る実績を上げている。さらなる移住件数の増加を目的に移住プロモーターを配置し、情報発信を強化するとともに、移住者交流会を開催し移住者の声を把握、コロナ禍の社会情勢の変化に的確に対応した事業を実施する。若者の地元回帰促進については、足下ではコロナ禍による企業の採用抑制等の影響があるが、小中学校各校でのキャリア教育の実践により地元への愛着意識を高めていくほか、学生及び社会人を対象とする奨学金返済支援事業の周知に努め、移住・定住・地元回帰意識の醸成を図る。

(1) 移住・定住の促進

- 移住プロモーターの配置やUIターンガイドの更新による情報発信の強化
- 移住コーディネーターを中心とした相談体制の強化（移住相談171件、移住件数69件）
- UIターンサポートプログラムの実施（オンライン2回+フィールドワーク2回）
- 移住支援金の支給（4件）等、移住支援制度の充実

移住定住施策による移住件数(年間)

現状値	R3実績値	R4実績値	成果指標
32件 (H30年度)	68件 (R3年度)	69件 (R4年度)	42件 (R6年度)
	進捗：◎	進捗：◎	

(2) 人材の流入と定着を図る環境の整備

- 鶴岡バイオクラスター形成プロジェクト事業として、事業シーズの探索や入居企業の誘致、産学官研究交流推進事業を実施<再掲>
- 地元愛着と多様な職業観の醸成、地元就職の早期意識づけを目的とするキャリア教育の実践を支援するため、教員対象の研修や実践協力校での出前授業等を実施
- 若者の地元回帰促進のため、つるおかエール奨学金返済支援事業を実施

高等教育機関・研究機関の研究成果などから誕生した本社を鶴岡市に置くベンチャー企業の40歳未満の従業員(役員(非常勤を除く)及び正社員)数

現状値	R3実績値	R4実績値	成果指標
187人 (R元年度)	182人 (R3年度)	198人 (R4年度)	227人 (R6年度)
	進捗：△	進捗：○	

2 関係人口・交流人口の拡大

新型コロナウイルス感染症の影響により、平成30年と比較すると首都圏等からの観光客・外国人旅行者が減少しているものの、全国的な旅行ニーズの高まりを受け、回復基調にある。観光振興については本市の歴史・文化や日本遺産など固有の資産を活用した中期観光戦略プランを策定し、これからのインバウンド需要の高まりを見据え、情報発信を行う。そのほか、国際バドミントン競技大会の開催や海外選手との交流の支援を継続し、地域の魅力を国際的に発信する。多文化共生のまちづくりについては、鶴岡市国際化推進プランを策定するほか、外国人観光客に向けた多言語掲示板の整備、多言語防災ハンドブックの作成を通じ国際交流の推進に取り組む。

報告書
18~23P

(1) 文化資源の保存・継承・活用

- 酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会が行う、令和4年本番年の記念事業を補助。入部400年に向けた普及啓発、機運醸成等の事業に対して補助し、庄内一円での地域の歴史と文化の理解、シビックプライドを高める取組を実施
- 鶴岡「サムライゆかりのシルク」推進協議会による高校生等の取組への支援を通じた普及啓発、ワークショップの実施等を支援
- 市内の指定文化財の保存修理に係る補助金を交付（国指定文化財修理3件、管理費補助金15件）
- 文化財保存継承のためのデジタルアーカイブ構築に備えた、指定文化財写真のデータ整理

文化財施設入館者数

現状値	R3実績値	R4実績値	成果指標
993,275人 (H30年度)	680,464人 (R3年度)	746,802人 (R4年度)	1,110,000人 (R6年度)
	進捗：△	進捗：△	

(2) 鶴岡ならではの観光の振興

- 鶴岡ふうどガイド育成・活用推進事業及び食文化研修プログラムを有効活用した旅行商品造成等の実施
- 観光案内所等において、交通機関・宿泊施設の案内など各種情報の提供、観光客へサービスを実施
- 加茂水族館リニューアルに向け、施設整備のための実施設計の見直しを実施

観光入込客数(上段)
外国人延べ宿泊者数(下段)

現状値	R3実績値	R4実績値	成果指標
637万人 7,924人 (H30年度)	383万人 937人 (R3年度)	428万人 1,075人 (R4年度)	760万人 50,000人 (R6年度)
	進捗：△	進捗：△	

(3) 市民スポーツの振興

- 「国際バドミントンU16推進協議会」が実施する国際的バドミントン競技大会を支援。
- 総合型地域スポーツクラブを訪問し活動状況や課題を把握したほか、安定したクラブ運営を支援するため、市有施設使用料の一部減免等を実施

「運動・スポーツに関するアンケート調査」における割合
①成人週1日以上の運動実施率(上段)
②成人週3日以上の運動実施率(下段)

現状値	R3実績値	R4実績値	成果指標
① 53.7% ② 21.9% (H30年度)	① 55.4% ② 34.3% ※R3調査未実施 (R2年度)	① 55.4% ② 34.3% ※R4調査未実施 (R2年度)	① 65.0% ② 30.0% (R6年度)
	進捗：数値なし	進捗：数値なし	

(4) 国際化の推進

- 出羽庄内国際村において外国人住民対象の日本語教室や地域住民を対象とした各種語学講座を実施
- 外国人の災害に対する知識の向上を目的に「在住外国人のための多言語防災ハンドブック」を作成

外国語講座及び日本語講座受講者数

現状値	R3実績値	R4実績値	成果指標
1,276人 (H30年度)	937人 (R3年度)	1,166人 (R4年度)	1,576人 (R6年度)
	進捗：△	進捗：○	

(5) 交流・連携の推進と基盤の整備

- 地域連携ICカードchericaの県内一斉導入に伴い、地域公共交通ICカード利用促進事業補助金の支援を実施
- 鼠ヶ関IC(仮称)隣接地への道の駅あつみを移転整備に関し、事業手法をDBO方式に決定し、整備予定地の用地取得事業を市開発公社に依頼

日本海沿岸東北自動車道
鶴岡西IC利用台数(台/日)

現状値	R3実績値	R4実績値	成果指標
7,225台 (24,152台) (H27年度)	— (21,437台) (R3年度)	— (23,704台) (R4年度)	11,300台 (34,118台) (R6年度)
	進捗：数値なし	進捗：数値なし	

※参考：()内は年度別車種別通行台数(台/日)

合計特殊出生率（出生数）

1.49(749人) (H30年) → 1.71(800人) (R6年)

R3時点
数値なし
(681人)

R4時点
数値なし
(618人)

子育て環境や支援への満足度

27.6% (R元年度) → 42.0% (R6年度)

R3時点
数値なし

R4時点
数値なし

1 結婚支援の推進

報告書
24~25P

新型コロナウイルス感染症の影響により、独身男女の出会いの機会となるイベント自粛や、結婚控え等が生じたため実績につながりにくい状況であったが、企業や自治会が開催する婚活イベントを支援した。「つるおか婚シェルジュ」による世話焼き活動等についても引き続き推進する。また、結婚に伴う新生活のスタートアップ費用に対し、補助金による支援を行い経済的負担の軽減を図っていく。

(1) 結婚を希望するひとを支援する環境づくりの推進

- 「つるおか婚シェルジュ」による1対1のお見合い支援や結婚相談会を開催
- 結婚に伴う新生活のスタートアップ費用に対する支援を実施
- つるおか婚活支援ネットワークに加盟する企業・自治会が開催する婚活イベントに対し、補助金の交付による支援を実施

つるおか婚シェルジュの世話焼き活動による婚姻組数（累計）

現状値	R3実績値	R4実績値	成果指標
15組 (R2.1月末)	20組 (R3年度)	23組 (R4年度)	44組 (R6年度)
	進捗：○	進捗：○	

2 妊娠・出産・子育ての支援

報告書
25~27P

新型コロナウイルス感染症の影響により、子育て支援事業の縮小が余儀なくされたが、感染症対策を講じながら安心安全な遊び場を提供したほか、子育てアプリの活用等により効果的な情報発信に努める。また、発達障害児等に対する専門保育士による発達相談や助言指導等支援を継続するとともに、相談記録システムの効果的な運用により要保護家庭への支援の充実、虐待の未然防止を図る。放課後児童クラブについては、施設の老朽化や狭隘化の課題に対応する整備計画を作成する。

(1) 子どもを産み育てやすい環境の充実

- すこやかな子どもを生み育てるネットワーク推進委員会を2回開催し、関係機関による情報共有するとともに、オンラインの子育て講演会や出前子育て懇談会のほか、すこやかネット通信を発行
- 新型コロナ感染症対策を講じながら、相談支援、子育て遊び場の提供等、安心して子育てできる環境づくりを推進したほか、専門保育士による乳幼児期の発達相談や助言指導を実施
- 要保護児童対策として支援対象児童見守り強化事業を開始し、食事の提供等を通じて訪問時に子どもの状況を定期的に把握するよう体制を強化
- 子育てに関する情報発信と子育て世代の利便性向上のため、つるおか子育てアプリによる情報提供を実施
- 第3子以降について、国の無償化制度対象外の0歳から2歳の子どもの保育料及び3歳から5歳の副食費を市独自で無償化。また、中学3年生までの医療費自己負担分を助成
- 市内保育園等で構成する「つるおか森の保育研究会」の活動を中心に、自然体験活動を推進するとともに、第12回つるおか森のフォーラムで活動成果を発表
- 放課後児童クラブの運営を委託するとともに、放課後児童健全育成事業補助金により事業実施を支援。
- 家庭教育推進事業として、小中学校や幼保園等で保護者が集まる機会を活用した、やまがた子育て講座、幼児共育ふれあい広場、家庭教育支援講座（小中12校、幼保園、児童館等17施設）の開催

本市の「子育てのしやすさ」の評価で「しやすい」又は「ややしやすい」と回答した保護者の割合

現状値	R3実績値	R4実績値	成果指標
38.3% (H27年度)	— (R3年度)	20.6% (R4年度)	50.8% (R6年度)
	進捗：数値なし	進捗：△	

3 男女共同参画の気運醸成

報告書
27P

国や県から発出されるワーク・ライフ・バランスの推進や働き方改革重要性について、適時、市内企業、団体等に啓発し、社会全体で子育てを応援する意識の醸成や環境づくりを推進する。また、第2次男女共同参画計画に定めた8つの数値目標の達成に資する具体的な取組みを推進するほか、職業支援や家庭支援の講座の開催や性の多様性について学ぶ機会の提供など、多様な学習機会を提供する。

(1) 男女共同参画と互いに尊重し合う社会づくりの推進

- 中央公民館女性センターでは職業支援や家庭支援に関する講座等を開催、開館40周年記念講演会は無意識の偏見（アンコンシャス・バイアス）や性の多様性について学ぶ機会を提供
- 男女共同参画推進懇談会のテーマとしてワーク・ライフ・バランスを設定し意見交換を実施

やまがたイクボス同盟
鶴岡市加盟企業数

現状値	R3実績値	R4実績値	成果指標
20社 (R元年度)	51社 (R3年度)	51社 (R4年度)	78社 (R6年度)
	進捗：○	進捗：△	

基本目標4

地域の支え合いを通じて、まちの安全を守り、活気を生み出す

中心市街地イベントの人出数累計
483,500人 (R2年度～R6年度)

R3時点	R4時点
31,484人	52,154人

地域活動事業参加者の割合
83.3% (H30年度) → **89.4%** (R6年度)

R3時点	R4時点
38.0%	48.9%

総合防災訓練参加者の累計
2,700人 (R2年度～R6年度)

R3時点	R4時点
322人	937人

1 まちの賑わい創出と支え合うコミュニティの形成

報告書
28～33P

新型コロナウイルス感染症の影響により、住民の外出の自粛や個店の廃業等が重なり、中心商店街を訪れる自転車歩行者数が落ち込んだと考えられる。一方で、新規出店数については徐々に回復傾向にあり、今後も引き続き、新規創業のための支援や技能向上の取組を実施する。また、交通については、新たに設けられた庄内交通の地域連携ICカード（Cherica）の販売及び利用促進策を講じたことや市内循環線の再編等により利用者が戻りつつある。まちづくり活動も制限を余儀なくされたが、令和4年度は1地区で地域ビジョン策定が完了している。さらに住民自治組織の主体的な地域づくり活動を推進するため、アドバイザー職員制度等により他地区の地域ビジョン策定を支援する。

(1) 明るく元気な地域の活力の源となるまちの賑わいの創出

- 中心市街地でのイベント支援やチャレンジショップ支援事業の実施
- コロナ禍により停滞した経済活動の再開を目的に消費喚起対策事業を実施
- 空き家、空き店舗を活用し6件（チャレンジショップ事業1件、空き店舗リフォーム支援事業5件）の創業を支援

(2) 快適な都市環境の形成

- 茅原地区の特性を活用した「福祉・医療・商業が共存する、出会いと交流のまちづくり」を目指し、組合が行う保留地処分等に対する指導助言を実施
- 市と商工会議所による検討会議を組織し、中心市街地将来ビジョン・中心市街地活性化計画の策定に向けた検討を開始（R4年度は3回開催）
- 中心市街地のまちづくり活動を推進する拠点整備に補助金を交付

(3) 公共交通の再編や整備による利便性の向上

- 交通事業者と連携し、公共交通の利便性向上のため、地域連携ICカード「Cherica」の導入や市内循環線の再編を行ったほか、周知・利用促進事業を実施

(4) 助け合い、支え合う地域コミュニティづくりの推進

- 住民自治組織が行う地域課題解決に向けた取組や地域ビジョン策定等住民主体の地域づくり活動に対し、アドバイザー職員を派遣(15地区に職員28名)したほか、ワークショップ支援、研修会、鶴岡地域まちづくり未来事業（7地区事業採択）等により支援

(5) 過疎地域の活性化

- 鶴岡市過疎地域持続的発展計画（R3～7）に基づき、過疎債を活用し事業を推進
- 朝日・温海地域に集落支援員を配置し、単独集落では解決できない課題について、広域コミュニティ化による解決方法を模索

中心商店街における自転車歩行者数(休日・平日の平均)

現状値	R3実績値	R4実績値	成果指標
3,934人 (令和元年度)	2,878人 (R3年度)	2,857人 (R4年度)	4,116人 (R6年度)
	進捗：△	進捗：△	

中心商店街における空き店舗率

現状値	R3実績値	R4実績値	成果指標
8.8% (令和元年度)	10.9% (R3年度)	9.9% (R4年度)	6.0% (R6年度)
	進捗：△	進捗：△	

中心市街地居住人口の市内総人口に占める割合

現状値	R2実績値	R3実績値	成果指標
5.41% (H30年度)	5.29% (R2年度)	5.25% (R3年度)	5.49% (R6年度)
	進捗：△	進捗：△	

平成29年度を100とした場合の路線バスなど利用者指数

現状値	R2実績値	R3実績値	成果指標
99 (H30年度)	76 (R2年度)	83 (R3年度)	100 (R6年度)
	進捗：△	進捗：△	

地域ビジョン策定件数(累計)

現状値	R3実績値	R4実績値	成果指標
8件 (R元年度)	11件 (R3年度)	12件 (R4年度)	17件 (R6年度)
	進捗：○	進捗：○	

平成30年現在の推計値と比較して人口減少や高齢化が抑制されたモデル地区数(累計)

現状値	R3実績値	R4実績値	成果指標
1地区 (R元年度)	3地区 (R3年度)	3地区 (R4年度)	7地区 (R6年度)
	進捗：○	進捗：○	

2 安全・安心な暮らしを守る

報告書
33～38P

庄内病院では、新型コロナウイルス感染症対策と通常診療の両立に努め、市立病院としての医療提供を実施したほか、看護力のスキルアップやデジタル技術の活用を通して患者サービスの向上に取り組んだ。また、各地区での地域防災力の更なる向上のため、計画策定の支援、働きかけ等を実施したことにより地区防災計画の策定状況は順調に進行している。

(1) 医療提供体制の充実

- 5疾患で地域連携パスを運用し、庄内病院での治療後も地域のかかりつけ医と連携し、安心して医療を受けられる体制を確保
- 臨床研修医受入に向け、県研修病院ガイダンス、レジナビフェアに参加したほか、病院独自のオンライン説明会の実施等により、令和5年度採用3名の臨床研修医を確保
- 国立がん研究センター東病院の専門医が、庄内病院でのがん手術をモニターを通して遠隔で手術指導（支援）をするシステムを活用した遠隔アシスト手術を実施

(2) 高齢者が健康で生き生きとした地域の実現

- 生活支援コーディネーターが地域課題と解決に資する取組をマッチングし、地域での支え合いの体制構築を推進
- 住民同士の支え合いによる地域づくりの担い手を養成する「担い手養成研修」を開催（修了者19人）
- 家族介護者のほか介護に関心のある方を対象に「家族介護者交流のつどい」を開催し、介護者同士の交流・介護相談に加え、介護技法等学びの機会を提供（11回、延べ127人参加）

(3) こころと体の健康づくりの推進

- がん検診の普及啓発として、商工会議所、労働基準協会等職域へのチラシ配布のほか、県等と連携し、大型店舗を会場に受診啓発グッズの配布、パネル展示、健康相談等のキャンペーンを実施
- 節目年齢や重点年齢へのダイレクトメールのほか、がん検診精密検査受診者への受診勧奨を実施
- 自殺予防のための相談先の周知やこころのサポーター養成、こころの健康相談など、ハイリスク者やひきこもりの若者に対して個別相談支援を実施

(4) 地域の防災・防犯力の強化

- 自主防災計画の見直しや新たに作成を検討している自主防災組織に対し、地区防災計画サンプルの提供や計画内容について助言
- コミセン単位での地区防災計画の作成を推進

(5) 安全・安心な生活基盤の整備

- 住宅セーフティネット制度による、住宅確保に配慮が必要な高齢者や障害者等の入居を拒まない登録住宅について、要配慮者専用住宅とする場合の改修費への補助、家賃・家賃債務保証低廉化補助を実施

庄内病院における患者サービスの満足度指数

現状値	R3実績値	R4実績値	成果指標
90.6% (令和元年度)	91.2% (R3年度)	90.6% (R4年度)	93.2% (R6年度)
	進捗：○	進捗：△	

要介護認定率

現状値	R3実績値	R4実績値	成果指標
19.43% (H31.3月末)	18.21% (R3.3月末)	17.88% (R4.3月末)	19.07% 以下 (R6年度)
	進捗：◎	進捗：◎	

がん検診受診率

① 胃がん検診受診率	② 大腸がん検診受診率	③ 肺がん検診受診率	④ 乳がん検診受診率
① 32.6%	② 29.7%	③ 29.5%	④ 34.4%
② 39.3%	③ 37.9%	④ 38.0%	⑤ 40.7%
③ 41.1%	④ 39.4%	⑤ 39.5%	⑥ 43.3%
④ 22.9%	⑤ 20.4%	⑥ 20.6%	⑦ 24.5%
⑤ 31.7% (H30年)	⑥ 30.4% (R3年)	⑦ 30.8% (R4年)	⑧ 34.5% (R6年)
	進捗：△	進捗：△	

人口10万人あたりの自殺者数

現状値	R2実績値	R3実績値	成果指標
21.3 (H29年)	24.7 (R2年)	21.6 (R3年)	15.3 (R6年)
	進捗：△	進捗：△	

地域防災計画上での地区防災計画策定組織数(累計)

現状値	R3実績値	R4実績値	成果指標
0件 (R元年度)	34件 (R3年度)	50件 (R4年度)	18件 (R6年度)
	進捗：◎	進捗：◎	

住宅確保要配慮者専用住宅登録戸数(累計)

現状値	R3実績値	R4実績値	成果指標
34戸 (R2.1月末)	735戸 (R3年度)	885戸 (R4年度)	757戸 (R6年度)
	進捗：○	進捗：◎	

横断的目標1

多様な人材の活躍を推進する

25～44歳の女性の就業率【再掲】
83.3% (H27) → **85.3%** (R6年)

R3時点	R4時点
84.2%	数値なし

障害者の実雇用率
2.08% (R元年度) → **2.30%** (R6年度)

R3時点	R4時点
2.13%	2.19%

横断的目標2

新しい時代の流れを力にする

未来技術を活用した地域課題解決のための
新たな取組件数 **累計5件** (R2年度～R6年度)

R3時点	R4時点
4件取組中	4件取組中

温室効果ガスの削減 **983.9kt-CO₂** (H28年度)
→ **829.7kt-CO₂** (R6年度)

R3時点	R4時点
861.2kt-CO₂	836.1kt-CO₂

1 全世代全対象型地域包括ケアの推進

- 地域の医療や介護資源の把握と連携についての課題を抽出し、切れ目のない在宅医療と在宅介護の在り方を立案。荘内病院と鶴岡地区医師会に一体的に委託し包括的支援事業として実施
- 協議会の4部会（相談支援・こども・発達障害・しごと）を毎月開催し、事業者間の情報共有を図った
- 生活支援コーディネーターが地域課題と解決に資する取組をマッチングし、地域での支え合いの体制構築を推進
- 住民同士の支え合いによる地域づくりの担い手を養成する「担い手養成研修」を開催（受講者30名）
- 家族介護者のほか介護に関心のある方を対象に「家族介護者交流のつどい」を開催し、介護者同士の交流・介護相談に加え、介護技法等学びの機会を提供した。（11回、延べ127人参加）

2 輝く女性活躍の推進

- 関係所管課のプロジェクト会議を開催し、情報共有を実施。また多様な職種の女性同士の交流を目的とした「つるおか小町Café」の開催
- 市審議会委員等への女性参画の推進については、所属別の女性割合をリスト化し庁内で共有するとともに、女性の適任者の見出しや充て職の見直しを実施
- 男女共同参画推進懇談会のテーマとしてワーク・ライフ・バランスを設定し意見交換を実施
- 中央公民館女性センターでは職業支援や家庭支援に関する講座等の開催、会館40周年記念講演会では、無意識の偏見（アンコンシャス・バイアス）や性の多様性について学ぶ機会を提供
- 家庭教育推進事業として、保護者を対象としたやまがた子育て講座、幼児共育ふれあい広場、家庭教育支援講座（小中12校、幼保園、児童館等17施設）を開催

1 食文化・食産業創造の推進

- 若手料理人等を対象としたオリエンテーションセミナーの開催のほか、漁業現場や新たな食材活用について研修を実施
- 食文化を生かした誘客や交流の促進を図る首都圏プロモーションやイベント重点期間「つるおかふうどフェスタ」の展開
- 学校給食有機米提供事業で市内全小中学校への有機米の提供（各2回、合計19,400食）を支援した。
- つるおかおうち御膳改訂版を発刊し、発刊と合わせた郷土料理教室を市内及び首都圏で実施
- 地域自給圏形成支援事業において地域農業者、加工業者、小売業者、大学とのネットワークを構築し、耕畜連携による加工品の販売を支援
- 郷土料理、地域食材を活用した料理教室等の開催を支援
- 生産者が行う在来作物を次世代へ伝承するための取組（栽培講習会、種子の採種、宣伝活動等）や普及啓発、食育に係る取組の支援

2 地域の国際化とSDGsの推進

- 出羽庄内国際村において、外国人住民対象の日本語教室や各種語学講座を実施
- 外国人の災害に対する知識の向上を目的に「在住外国人の為の多言語防災ハンドブック」を作成
- 旅行商品の企画・販売による交流人口、インバウンドの拡大を目的として、鶴岡ふうどガイド育成強化事業と食文化研修プログラムの有効活用について（一社）DEGAMに委託し、旅行商品の造成等を実施
- 自然学習交流館ほとりあを中心に、自然学習、小学校総合学習等の受入れ、ワークショップ等のイベント開催
- 環境フェアをオンラインで開催し、環境意識啓発動画をYouTubeで公表
- 再生可能エネルギー設備普及促進事業において、太陽光発電設備、木質バイオマス燃焼機器、地中熱利用装置の導入に対する補助を32件実施